



# 二葉だより

令和5年1月31日 NO.11

墨田区立二葉小学校

校長 山崎 隆



## 「学びに向かう力」を育む

副校長 関口 亮治

1月25日に二葉小学校では、令和3・4年度墨田区教育委員会研究協力校として研究発表会が開かれました。当日は、十年に一度と言われる寒波の中、約150名の来賓や区内外の学校関係者を迎えて行われました。

5校時には授業が公開されました。1年国語「『スイミーすごろく』で登場人物のよさやすばらしさについてつたえよう」、2年生活「作って あそぼう うごく おもちゃ」、3年体育「キャッチバレーボール」、4年社会「東京都の特色ある地域の様子」、5年算数「面積の求め方を考えよう」、5年音楽「ずれの音楽を楽しもう」、6年総合的な学習の時間「ふるさと～Futaba～のためにできること」の7つです。

授業後には体育館で研究発表会を行いました。研究テーマは「『学びに向かう力』を発揮する児童の育成」です。現在の学習指導要領では、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の3つの資質・能力を育成することが求められています。このことを踏まえて、本校の子供たちが「学びに向かう力」を発揮する姿を、授業研究を通して明らかにしようとしてきました。そして、研究を通して得られた次の「5つの学びに向かう力」について発表をしました。

- ア 課題・問題を設定する力 ・学習活動の目的そのものを子供が設定している。
- イ 活動の方法を選択・決定する力
  - ・活動の目的に向けて、子供が取り組みの方法について選んだり決めたりしている。
- ウ 対象と繰り返し関わる力
  - ・他者の意見や話を価値付けたり、自分の意見と関連付けたりしようとしている。
- エ 他者と関わる力 ・学習材に子供が繰り返し働き掛けている
- オ 経験を振り返る力 ・子供が生活経験や学習経験を振り返り、生かそうとしている。

講師の國學院大學 人間開発学部初等教育学科 教授 田村 学 先生からは、公開授業で現れていた学びに向かっている子供たちの様子や、本校の研究をよりよくしていく視点のご示唆をいただきました。参加者の皆様からも子供たちの学習に向かうよさについて、多くのご感想をいただきました。

講師の田村先生のお話の中で印象に残った言葉があります。それは、「学びに向かう力は、『将来にとって大切な力』です。」(文責:副校長)というものです。二葉小学校では、この研究を生かし、今後も子供たち一人一人が自分のよさや可能性を伸ばし、豊かな人生を切り拓き、これからの社会の創り手となるように子供たちの「学びに向かう力」を育てていきます。

この研究発表会に際して、保護者の皆様をはじめ、当日の運営にご協力いただきました PTA 本部役員、学校関係者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。